

令和7年度 放課後等デイサービス たんぽぽ 自己(事業所)評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制・整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	0	・部屋は活動しやすい広さのスペースで、体育館も整備されている。 ・3部屋ある為、落ち着いて過ごすことができる空間もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	1	0	・職員一人に対する子どもの人数が多くても2人、場合によって職員がフォローに入る為一人に対して充実した支援を行っている。 ・マンツーマンまたはそれに近い形で、安全に丁寧に支援できるよう体制を整えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	0	5	0	・廊下、トイレが広く、玄関にスロープがある為車イスでも通りやすい。 ・エレベーターがない為、階段では子どもと手を繋ぐように対応し、危険がないように配慮している。 ・2階に上がるのに階段しかないため、使用する際は安全に気を付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	1	0	・月に一度会議を行い、子どもの状況や支援について話し合いを行っている。 ・毎月支援計画に基づき、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	・年に一度実施している。 ・アンケート結果について、改善点を会議で話しあった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	2	0	・HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2	0	第三者評価を受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	3	0	・研修に参加しない。 ・全員が参加できていない。または回数が少ない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	1	0	・どの職員も個別支援計画等をすぐに確認できるようファイリングされている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	0	必要に応じて心理士が発達検査を行い、子どもの状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	3	0	曜日ごとに担当しているが、一人の職員に対する負担が大きくなってしまふことがある。 ・全職員が揃うタイミングが少なく、チームとしてうまく役割分担できていない部分もある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	1	0	・下校時間や子どもの体調によって、外出やおやつ作りを取り入れている。 ・季節や行事に合った製作を行っている。

						・季節に合わせた活動や製作を行っている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	2	0	・平日は子どもの体調を考慮し、短時間の活動を取り入れることもある。 ・長期休暇は時間を活用し、集団活動を取り入れている。 ・その日の子どもの状況によって対応できるよう、いくつかのパターンを想定している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	・集団活動の中でも、その子に合わせて強要するのではなく、タイミングや気持ちを大切にしている。 ・下校時間が早い時には、個別に外出活動を取り入れることもある。 ・集団活動(クッキング、製作等)も計画しつつ、個別の時間の充実も図れるよう、子どもに合わせて支援している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	・子どもたちが来る前に、学校や家庭で変化があった場合には、情報共有し、職員全員が把握できるようにしている。 ・1日の流れや活動に合わせた注意点を話し合っている。 ・最近の様子等も踏まえて、色々な想定をしながら活動や役割分担を検討している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	0	・自分の担当する子どもの様子やエピソードを具体的に共有している。 ・不安や疑問に感じた点は相談し、解決に繋がれるようにしている。 ・担当職員が不在の場合も、全員の子どものための情報共有を行っている。 ・全員参加はできていないが、カンファレンスの時間は必ず作り、あられや気付きを共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	・1日の流れや生活面について細かく記録している。 ・支援計画に基づき記録し、その子の素敵だった姿を残している。 ・個別支援計画に基づいて、1日の振り返りや記録をしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	1	1	半期に一度面談の機会を設けて、あられについて保護者と情報共有している。あられに応じて支援内容について検討した。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	0	2	1	
連携 関係機関・保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	1	1	あられをよく知る職員が参加するように調整している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	1	1	・学校への送迎時に先生から報告を受けている。 ・その都度学校や保護者に連絡しあられや出来事を共有している。必要に応じて関係者会議に参加し、対応について検討をした。

	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	3	2	・体制が整っていない為、医療的ケア児を受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	1	1	・相談支援専門員を通して行っている。 ・必要に応じて児童発達支援センターや相談支援専門員と情報共有を行った。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	4	1	今年度は障がい福祉サービス事業所等との関係者会議の機会がなかった。翌年度以降関係者会議等のフォローアップが必要な場合は、必要な情報を整え準備をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	3	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	1	1	・外出で見学施設や公園に行くことはあるが、一緒に活動する機会はほとんどない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	0	3	1	・毎回担当者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	0	4	1	・子どもの様子や素敵だったところを具体的に伝えるとともに、家庭での様子や最近好きなことについて聞くことが出来た。 ・発達や課題については、時間が限られていることや、聞きことも十分に話し合えていない。 ・子どものあらわれやエピソードを伝えている。課題など具体的な話まではできていないが、学校や家庭での様子を聞いたり、必要に応じて、面談等の時間を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	6	1	・ペアレントトレーニングは実施していない。 ・保護者対象の茶話会や親子活動を企画し、保護者と情報共有の機会を設けている。
保護者へ説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	2	1	・後期のモニタリング面談、契約更新の際、契約内容について説明している。利用時の負担や加算等については前期個別支援計画に添付し各家庭へ配布している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	3	1	・保護者から相談されることは少ないが、保護者へ返答は上司に相談するようにしている。 ・必要に応じて、会議や巡回指導等の機会を設けている。自身はさらに信頼関係を築いていけるよう日頃のやりとりを丁寧にしていきたい。

						・必要に応じて、面談の実施や関係者会議等参加をして、あられや支援について情報共有を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	4	1	・9月の親子活動では職員を交えた保護者同士の話し合いの場があった。 ・参加人数が少なかった為、今後はより多くの保護者が参加しやすい声掛けや開催方法の工夫が必要である。 ・顔を合わせる機会が少ないため、保護者同士の交流の機会を作っている。参加人数は少ないため、保護者のニーズに合わせた内容を計画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	0	5	0	・苦情は少ないが、保護者からの要望があった時には、職員間で共有、対応策を検討している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	3	0	・会報は発行していない。 ・子どもたちの活動の様子を事業所の居室等に掲示している。 ・活動写真の掲示、インスタグラムでの発信をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	1	0	・子どもの名前や情報は職員間のみで共有し、外部に話さないようにしている。 ・書類や記録は決められた場所に保管するようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	・子どもによって絵カードや写真、実物提示をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	3	0	・東遠学園で「丘の上フェスタ」を開催し、地域の人達と交流している。 ・東遠学園全体の行事として計画、実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	4	0	・マニュアルを共有出来ていない。 ・保護者に周知できていない部分もある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	・月に一度定期的に避難訓練を実施している。 ・毎月曜日を変えて、全員が参加出来るように工夫している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	0	5	0	・全員が参加できていないが、会議で大切な事柄は共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	3	0	・やむを得ない身体拘束の可能性のある場合は、個別支援計画の内容に記載している。 ・自傷や他害が起きた時には安全確保するようにしている。

	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーがある子どもが利用する時には、おやつ材料や食べる場所に注意している。 ・アレルギー対応が必要な日には、アレルギーに対応したおやつ作りや、おやつ作りを実施しない等配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの障がい性や特性上、ケガや事故に繋がる可能性があると感じた出来事は共有し対応策を考えている。
実践	44	子どもの事がわからないと感じた時に、早わかりしようとせずに、どうしてなのか？と自らに問い続けているか？	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの子どもの姿だけで判断せず行動以外の要因も考えるようにしている。
	45	子どもの事がわからないと感じた時に、傍観するのではなく、働きかけて変化を作りだし、理解しようとしているか？	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・見守るだけでなく、声掛けや視覚教材を用いた働き掛けを行っている。 ・子どもに選択してもらう機会を心掛けている。
	46	子どもの事がわからないと感じた時に、独りよがり判断をせずに、他の職員に意見を聞く等しているか？	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけで判断しないで、その場の状況が分かるように具体的に職員に伝え、一緒に考えてもらう。 ・カンファや会議の際に、職員間であらわれや支援について共有し、ポイントはおさえているが、十分に時間を取ることができていない。時間を確保できるよう開催回数など調整していきたい。
	47	子どもの”問題行動”に出会う時に、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか？	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行動だけで判断せず、背景やその子の本当の想い、困り感を考えるように意識している。
	48	子どもの”問題行動”に出会う時に、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか？	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに共感、代弁し寄り添う姿勢を大切にしている。 ・行動だけを注意するのではなく、気持ちを受け止めるように意識している。
	49	子どもの表面的な事柄を並べるのではなく、働きかけて、肯定的な事実を作り出し、それを意味づけようとしているか？	6	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな「できたこと」でも言葉にして伝えるようにしている。 ・失敗場面でも出来た事を褒めるようにしている。 ・出来た経験をたくさん増やし、子ども自身に繋がるように意識している。 ・支援の引き出しがまだまだ少ないと感じるが、他の職員と相談しながら、色々な視点を持てるようにしていきたい。
	50	気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるという事を押さえて、子どもを理解しようとしているか？	5	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子と比べず、その子のペースを大切にしている。 ・活動では結果だけでなく、過程を大切にしている。
	51	子どもの発達、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか？	5	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今の子どもの困り感を考え、状況に応じて支援の仕方や関わり方を変えるようにしている。 ・子どもがどのような発達段階にいるのか、自分だけではわかりきれない部分もあるため、他職員に助言をいただきながら、子どもを理解しようとしている。
	52	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか？	5	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日当日の体調や疲れ具合、学校での活動内容を考慮している。

53	大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという自省的な意識を持って、子どもを理解しようとしているか？	3	0	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・関わりが上手くいかなかった時は、子どもの行動だけでなく自分の対応も振り返るようにしている。 ・自分自身のスキルアップのための時間が確保できていないため、時間を工夫していきたい。
54	遊びや生活を通じて、子どもの内面を通じて、こどもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか？	5	0	1	1	